

ハロー フレンズ



2023年 1月号 (年3回発行) 第161号

「あけましておめでとうございます。」

新たな1年を迎え、このハローフレンズを手にとられたみなさまは、いかがお過ごしでしょうか?

第25回総会を終え、ふじみの国際交流センターはあらたな体制で新年度を迎えることが出来ました。この場を借りて、御礼申し上げます。

さて、2023年の干支は「癸卯(みずのと・う)」だそうです。つまり“うさぎ”であり、まさに“ぴょんぴょん”と活発な取り組みにつなげたいものです。「癸卯」について調べてみると、「癸」は、10番目で、物事の終わり始まりを意味する他、「揆(はかる)」という文字の一部であることから「種子が計ることができるほどの大きさになり、春間近でつぼみが花開く直前」という意味だそうです。「卯」はもともと「茂」という字が由来といわれ「春の訪れを感じる」という意味があり、また、「卯」という字の形が「門が開いている様子」を連想させることから「冬の門が開き、飛び出る」という意味もあるそうです。

この2つの組み合わせの“癸卯”は、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起の良さを表していると言えます。

そして、ふじみの国際交流センターは設立から25年を迎えました。設立当初から多くの方々が支えてくれたことによるものです。周年事業は、またあらためてご案内したいと思います。その節は関係者のみなさまと一緒に祝いを行いたいと考えます。

2023年がみなさまにとって良い1年となりますよう、祈念致しまして新年の挨拶に変えさせていただきます。ふじみの国際交流センターを今後ともよろしくお願い致します。(理事長 室井伸幸)



子どもクラブの生徒たちからの寄せ書き

※絵コンテストの表彰式の時、子どもたちからもりました。内容の一部を紹介します。

いつもありがとうございます。
子どもクラブのみんなは予定がバラバラのため、全員からのメッセージを集められませんでした。でも、私たちは子どもクラブにいる一人一人の先生が大好きです。いつも会っている山畑先生も戸塚先生も進さんも...ボランティアのみなさんも。一人一人に感謝の気持ちがいっぱいです。先生たちの姿を見て、いつも「かっこいいな～」と思います。学校の勉強だけではなく、自分の子どもみたいに心配してくれているみなさんは私たちのヒーローです。私たちはこの気持ちを上手く伝えられないですが、「ありがとうございます」の一言だけ言いたいです!!!

第25回総会が行われました

11月13日、上福岡西公民館で第25回通常総会を開催しました。

総会には正会員49名が出席して2021年度事業報告・会計報告、2022年度事業計画・予算案、定款変更、役員改選などすべての議案が可決承認されました。また総会前には外国ルーツの子どもたちによる絵コンテストの受賞者表彰が行われました。



事業報告を行いました



新理事の塚本さんと、新監事の梅村さん



「外国ルーツの子どもたちのための絵コンテスト」表彰式

通常総会の前に、「ふじみ野市・富士見市・三芳町の外国ルーツの子どもたちのための絵コンテスト」で入賞した子どもたちの表彰式が行われました。

スタッフとボランティアによって9作品が選ばれ、小学校低学年、小学校高学年、中高生の部の各3名、計9名が壇上にあがり表彰されました。「どうしてこの絵を描いたのですか」という問いには、「なん

となく描いてみた」、「紫色が好きなので、この色の良さを伝えたかった」、「センターから見える外の景色を描いた」などの答えが、子どもたちからあがっていました。

ご協力くださった二市一町の関係者のみなさま、この事業の助成をしてくださった「公益財団法人つなぐいのち財団」にお礼を申し上げます。



インタビューに答える子どもたち



子どもクラブ担当のスタッフは、子どもたちからお礼の色紙をもらいました

ふれあい講演会

於：ふじみ野市立大井東中学校(2022年11月2日)

国際子どもクラブ担当 山畑博子

大井東中の学区には、大勢の外国ルーツの児童生徒が住んでいます。日本語指導員として、FICECのスタッフも協力しています。そんな縁で、学校長から学校運営協議会委員になって欲しいと依頼があり、2020年の4月から委員を引き受けています。

しかし、同年の冬からコロナウイルスが猛威を振るい始め、数々の計画は何も実現できず3年目の秋を迎えました。今回「国際交流と未来を創る生徒へ」という題で話をする依頼を受け、校内の各クラスと家庭へオンライン配信という形で、講演させていただきました。

- 1 近年、東武東上線沿線は外国住民が多い地域になってきている。
- 2 国の外国住民受け入れ体制が遅れており、小中高等学校での課題が残っている。
- 3 学校に入れない15歳以上(高校生の年齢にあたる)の生徒の諸問題
- 4 自国の歴史から未来へ進む道が学べる事等を話しました。



義務教育年齢を超えた生徒が来日した場合、受験という壁を越えなくて高校へ行けないことへの国の対策はほとんどありません。これは今一番懸念されている問題です。

アジアのほとんどの国は留年制度があり、当該学年のテストで合格しない限り進級できません。(課程主義)しかし日本では、義務教育の小中校は年齢で学年が決まります。(学齢主義)

日本語ができなくても、高校で勉強できると期待して来日する生徒達があります。高校に入るため

には、日本語のみならず他教科も日本語での勉強が必要なことに気づきますが、勉強する場所がありません。行き場がなく、学ぶ場も見つけれず、追い詰められる生徒達。特にコロナ禍で、6か月間も一人で家にこもり勉強していたという話も聞きました。子どもクラブでは、このような現状の生徒達に学ぶ場を提供しています。学校外で勉強している受験生がいる現状を、同じ立場にいる中学3年生にも知ってもらいたいと思いました。

〈 FICECを訪ねて来た15歳以上の生徒達 〉

2013年	1人	フィリピン
2014年	1人	中国
2015年	4人	ネパール、パキスタン、ミャンマー
2016年	2人	メキシコ、フィリピン
2017年	2人	ネパール、フィリピン
2018年	2人	フィリピン、中国
2019年	3人	フィリピン
2020年	3人	バングラデシュ、ミャンマー、中国
2021年	3人	バングラデシュ、ミャンマー、中国
2022年	4人	ネパール、フィリピン



日本が1994年に批准した、ユネスコの「子どもの権利条約」4つの原則についても話しました。未だ道半ばの日本の教育支援の政策が少しでも進展することを願っています。





スタッフ紹介

ネパールの友人に紹介したい

梅村 敏幸

監事を務めさせていただきます梅村敏幸と申します。現在64歳で、中央労働金庫の職員です。現在は、定年再雇用嘱託職員として、全国労働金庫協会という組織に勤務しています。

永田副理事長からふじみの国際交流センターの監事就任のお誘いをいただきましたが、活動実態につきまして、その時点ではほとんど知りませんでした。その後、ホームページ等を拝見し、事業にとっても共感いたしましたので、お受けさせていただいた次第です。

私は山登りが趣味で、46年前から職場の山岳会で四季を通じて山に行っており、41年前に初めての海外がヒマラヤトレッキングでした。そこでアジア最貧国のひとつであるネパールの実態に触れ

たことで、国の経済や、貧困問題・環境問題を考えるきっかけになりました。

業務で2012年から2018年まで、国際労働財団という労働組合支援を通じた途上国支援を行う団体に出向になり、ネパール・モンゴル等の支援事業のサポートを経験しました。外国語を話せるわけではないのですが、ネパールの方々が、親族の金銭支援で希望を抱いて来日したものの、様々な困難を抱えていることを現地の方々から伺っていました。

皆様が取り組まれている活動をネパールの友人に紹介したら、きっと感謝されると思います。わたしも微力ですが、皆様のお役に立てますよう頑張りますので、よろしく願いいたします。



okuni no oyatsu

第6回

韓国の手作りおやつ

安銀柱さんの「春香る餅 ファジョン(花煎)」

韓国は3月に入るとあちらこちらにピンク色のツツジの花が沢山咲きます。韓国のツツジは日本のツツジより鮮やかなピンク色と薄い花びらが特徴でレンギョウの花と同じく春を代表する花です。

山にツツジの花が咲くと昔の人は花見をしながら、花びらを乗せて焼く、ファジョンという餅を食べました。

今回は日本でも簡単に手に入る材料を使って作ってみたいと思います。春はまだまだ先ですが、ファジョンを作りながらあたたかな春を待ちたいですね。

【材料】

餅粉…300g / 塩…2g / 熱いお湯…150g
ハチミツ…少し / 油…適量

(私は飾り用に食用花を使いましたが、春菊の葉っぱやなつめ、ヨモギの葉などで飾ってもいいです)

【作り方】

1. ボールに餅粉と塩を入れます。
2. お湯を入れながらこねます。



3. 生地が耳たぶより柔らかくなるようにこねます。お湯の量は生地に合わせて加減してください。
4. ピンポン玉より小さめに丸めて、両手の平に挟んでつぶします。
5. 5mmくらいの厚さで丸くします。
6. フライパンに油を多めにひいて餅を焦げないように焼きます。
7. 焼いた片面に花びらや葉っぱなどを飾って、ひっくり返してさっと焼いてフライパンから出します。(花が焦げやすいので花が表面に付くくらいがいいです。)
8. ハチミツをつけていただきます。

「国際交流フォーラム」報告



富士見市のキラリ☆ふじみにて、国際交流フォーラムが10月1日(土曜)、3年ぶりに開催されました。コロナ感染防止のため人数規制がありましたが、マルチホールでの外国籍市民トークコーナーでは、FICECの日本語教室で学んでいるスリランカのヘシャーンさんと韓国の安さん、FICEC中国人スタッフ江(ジャン)さんが、外国籍の方からみた日本の暮らしについて、流ちょうな日本語で講演を行いました。

展示会場とマルチホール入り口では、FICECで学習する外国籍の小中学校の子どもたちが描いた絵が展示されました。

富士見市太鼓の会演奏、やさしい日本語講座、弦楽四重奏による世界の音楽演奏なども行われました。セルビアフェスタの一環で、セルビアのお菓子プレゼントなども配られました。(茂木久美子)



講演の出演者のみなさん、お疲れさまでした！

「2022年度 パル・マルシェ in 三芳センター」参加報告

パルシステムとFICECとのコラボが実現しました。11月19日(土)に、パル・マルシェ(産業祭)のお手伝いに行ってきました。受付と野菜の販売の仕事をしました。参加者は、国際子どもクラブに所属する5人の若者です。中国語とネパール語でのチラシも作っていただきました。(山畑博子)



ゲームも全力で取り組みます



引率の山畑先生とみんなです。



販売のお仕事がんばりました！



お手伝いお疲れさまでした。

自分も通った道だから、困っていることが分かるんです。

FICECベトナム語通訳・翻訳者 **ドオ ミン フウン** さん

2009年に来日して日本語学校で1年勉強し、秀明大学の観光ビジネス学部に入りました。卒業前に同じ学部の人と結婚して、子どもができたので、就職はせずに、5年間ずっと子どもと家にいました。

その頃は外国人も少なく、周りに友だちもいなくて寂しかったので、ネットでFICECを見つけて電話したら「これから引越すので引っ越しが終わったら来て!」と言われて。タイミングが悪かった。(笑)

その後生活相談でFICECに行ったとき、事務局の方に「翻訳の仕事は出来ますか」と聞かれ、通訳や翻訳の仕事をするようになりました。

貴重な経験だったのは、下の子が生まれたばかりの頃に、ベトナム人の若い男性の通訳を引き受けたことです。彼は全然日本語が話せず、手首を骨折していて一緒に手術室に入る必要がありました。私は手術を受けた事さえなかったので、最初は恐かったのですが、手術している彼の隣に座って「痛くないですか」、「手をあげてください」と通訳して。私たち2人ともよくがんばりました。

翻訳は手渡す前に何度も見返して間違いがないようにしていますが、出来たものを開いて見る勇気がないんです。もっと自然な言い方があったのに、と思ってしまう。お金をいただいているので責任を持ってやりたいんです。

自分も通った道だから、特に同国人の困っている状況はよく分かります。もっと日本に来る前に正しい情報を得てほしい。仲介の会社から「働きながら勉強もできます」、「親の援助がなくても大丈夫」とか言われて日本に来るけど全部嘘でした。大学の学費を払うためにいっぱいバイトしました。周りの子たちも同じでした。お金に困って悪い事しちゃう子も中にはいます。若くて正しい判断が出来ず、友だちに誘われて悪い事に巻き込まれてしまう。国で借金してきて頭の中はお金のことばかりで、勉強どころじゃなくなってしまうんです。



下の子が幼稚園に入ったときに、「もう家にいたくない」と思い仕事を探しました。スーパーマーケットに面接に行って「子どもがいるので急に休んでもいいですか？土日に休みたいです」と聞いたら、「いいですよ」と言われ「え？本当に!？」って。そこは子育てのための特別な制度があるんです。職場ではシフトを最初に入れてもらえて、すぐ助かります。

まだしばらく子どもを優先してやっていきたい。子どもたちは沢山習い事をしていて、上の子はピアノ、プール、英語。下の子はピアノ、プール、新体操、公文、そしてベトナム語。今は送り迎えですごく忙しいし、ずっと家の外にいるような日もあるけど、全然イヤじゃない。むしろうれしい。成長してるのが見られるから。やりたい時にやらせてあげたい。自分が体験していない事ばかりだから。私が小さい頃はやりたくてもできなかったんですよ。パパにも習わせ過ぎじゃないのと言われたけど、「もう少し大きくなったら今の経験が役に立つから、子どもが習い事できてよかった！て感謝してくれる日が必ず来るからパパ、待ってて!」と言っています。(笑)

(インタビューアール：小林暁美)

ふじみの国際交流センターのサポーターになってください

マンスリーサポーター募集中!!

在留外国人に多言語での情報提供や、生活相談、日本語学習の場が必要と思う方、在留外国人の孤立を防ぐための活動が必要と考えている方や企業のみなさま、またボランティアをしたいけれど時間のない方はマンスリーサポーターとなってください。

一人でも多くの方々の支援をいただき、わたしたちの活動が今後も継続して行けるようになればと、切に願っております。ご理解ご支援をお待ちしています。

◎マンスリーサポートの流れ

①HPの申込フォーム、電話、FAX、ハガキ等でご連絡ください。

住所 〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25
ふじみの国際交流センター マンスリーサポート係

電話 049-256-4290 または 049-269-6450 FAX 049-256-4291



②ご連絡いただいた方に、ゆうちょ銀行指定の自動払込申込書(3枚綴り)を送付します。

③ゆうちょ番号・寄付金額をご記入の上、押印して、返信用封筒にてご返信ください。

④毎月25日にゆうちょ銀行口座から自動引き落としで対応させていただきます。

◎スポットサポーター募集(不定期、または一回のみのサポート)

郵便振替口座(口座番号:00110-0-369511、
口座名:[特活]ふじみの国際交流センター)
または、現金書留でお願いいたします。



広告

45周年の感謝を胸に、未来へ!

株式会社 吉岡は、2022年をもって45周年を迎えました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と心より感謝しております。スタッフ一同、皆様の御期待に添えるようより一層努力してまいりますので、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますことをお願い申し上げます。



紙の総合商社
YOSHIOKA

TEL 049-253-4985 FAX 049-268-1500

〒356-0011 埼玉県ふじみ野市福岡561-3

MAIL : info@yoshioka-p.com URL : www.yoshioka-p.com



(株)吉岡はエヌエスティ・グローバルリスト(株)のグループ企業です。

○お店の広告を出しませんか? 詳しくはFICECまでお問い合わせください。

FICECの活動をご支援ください
会員・賛助会員・寄付のご案内

●活動を担う会員…正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

●FICECを財政的に支える会員…賛助会員

賛助会員は、FICECを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、FICECのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関誌をお送りします

郵便振替口座: 00110-0-369511
 口座名: [特活] ふじみの国際交流センター

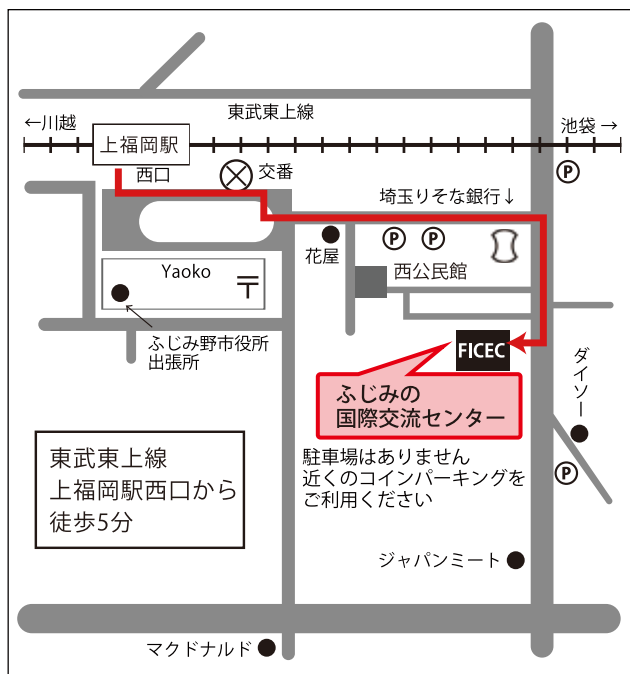
外国人生活相談 無料

月曜日～金曜日 10:00～16:00

電話: 049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら
 FICECをご紹介ください。

※コピー代など料金がかかる場合があります



埼玉県指定・認定特定非営利活動法人
ふじみの国際交流センター

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25
 TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291
 生活相談専用電話 049-269-6450

ご寄付をいただいた方々
 ご支援ありがとうございます

●2021年12月1日～2022年12月25日(敬称略)

阿久津俊昭、浅葉幸作、穴沢エミリン、安部幸枝、新井順子、新井良司、安銀柱、安昌美、伊藤愛、伊藤真弓、岩田愛子、上島直美、牛込亜紀子、尾浦邦彦、岡本直久、小熊千寿子、大室昭浩、柏木ひろみ、片倉ミン、鎌田かよ子、神田歩、神田順子、菊池久美子、北林ジャネット、木村不二雄、ギャレット三宅万里子、丘亜蘭、樟山直美、久保田正幸、栗嶋三千代、栗田順子、コック、木場ひろみ、小林暁美、小林和恵、小林洋輔、酒井有香、坂口久身江、佐藤ナンタワン、佐藤義治、サラナンヨサポール、塩野圭子、島田道子、清水昭彦、ジャパンミート1%還元、江科進洸子、新川八重子、スニル、芹澤英樹、ゾシズン、高崎千鶴子、高橋真梨子、田上佳代、武田和子、立麻医院・稲荷山典子、田中功、チンテイヴァン、塚原延枝、塚本英樹、坪田幹男、寺村璧如、トアテイスニル、戸塚成子、豊島亮介、洞山恵理、内部利明、永田信雄、仲野谷美恵、中村禎作、榎府憲太、沼田伊久俊、野澤弘子、長谷川正江、濱田明彦、保坂佐紀恵、松尾里美、松本好正、マハルジャン、茂木久美子、森下理恵子、森田有美子、矢澤美紀、山中綾子、山畑博子、山本健一、吉井ジュリエッタ、(株)吉岡、吉沢悦子、吉永一男、吉松楓乃

〈マンスリーサポーター〉

石井幸夫、石井ナナエ、遠藤慧子、太田政男、勝沼深、窪田和揮、小林久美、権田貴久子、佐藤直志、末吉智子、清家泰子、中嶋恵津子、中田好江、仲野京子、仲野公堅、中山浩子、野田恭三、野辺頼之、藤井みどり、八重樫紀久枝、吉田憲郎、吉野高章

※埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付をしてくださった方は、税金の優遇を受けることができます。

ふじみの国際交流センターサービス案内		
外国人	国際理解教育	3,000円+交通費+事務費
ゲスト派遣	外国料理教室	5,000円(材料費別途)
講師派遣	多文化共生講座 ボランティア講座	20,000円+交通費 (活動運営のためご協力ください)
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等	内容・予算に応じて相談
編集・出版	多言語による情報誌・ガイドブック・チラシなどの制作	
翻訳	婚姻関係、ビザ申請、履歴書	A4 3,000円/ページ
	その他文書	A4 3,000円/ページ
通訳	半日5,000円+交通費	
見学・研修(資料代として)		1,000円/人、日